

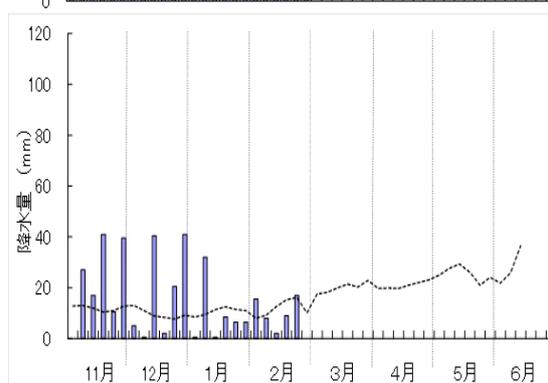
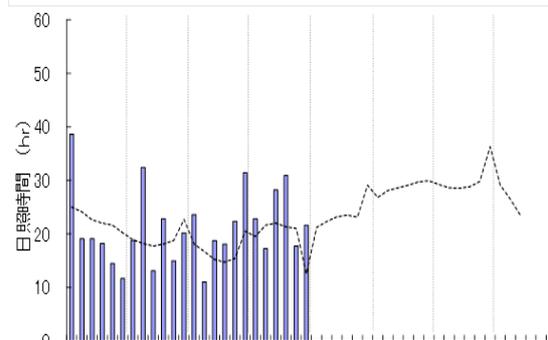
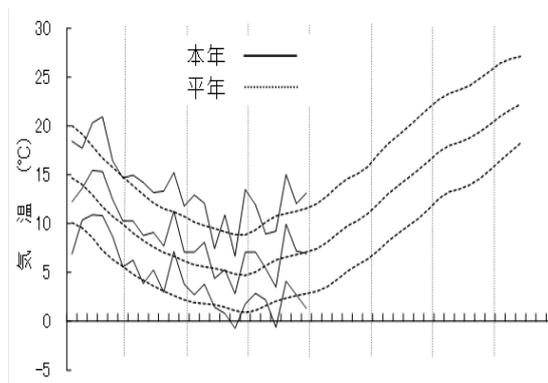
1. 平成28年産麦の生育状況について

平成29年3月6日、福岡県より「福岡県米麦大豆生産改善速報第8号」(平成29年3月2日付)が発表されました。あわせて、福岡県農林業総合試験場HPに「福岡県米麦大豆生育情報(平成29年3月3日付)」が掲載されています。

【抜粋】2月10日～2月28日の平均気温は平年並みで、日照時間は25%多く、降水量は4.9%少なく推移しました。

3月1日現在の生育は、福岡県農産部(筑紫野市)では、草丈は平年より6～35%長く、主幹葉数は0.5～0.7葉多く、生育は進んでいます。茎数は平年より12～18%少ない状況です。福岡県筑後分場(三潴郡大木町)では、草丈は平年より9～26%短く、主幹葉数は0.2～0.4葉多く、生育はやや進んでいます。茎数は平年より10～34%少ない状況です。

ほ場の湿潤状態が続いておりますので排水対策が極めて重要になります。また、茎立期以降の踏圧を行わないなど、麦の状態を見ながら、しっかりとした中間管理を行うよう、指導していきます。



詳細は福岡県農業総合試験場HPで↓↓
<http://farc.pref.fukuoka.jp/organization/nosan/index.html>

◆シロガネコムギ (福岡大城、3月8日撮影)



◆チクゴイズミ (にじ、3月7日撮影)



◆ニシホナミ (筑前あさくら、3月8日撮影)



◆ミナミノカオリ (柳川、3月7日撮影)



◆ちくしW2号 (ふくおか八女、3月23日撮影)



◆ニシノホシ (福岡京築、3月13日撮影)



◆はるか二条 (北九、3月10日撮影)



◆はるしずく (みなみ筑後、3月8日撮影)



◆ほうしゅん (糸島、3月23日撮影)



◆はるみやび (みい、3月6日撮影)



◆しゅんれい (むなかた、3月17日撮影)



◆イチパンボシ (筑紫、3月6日撮影)



2. JA全農ふくれん麦部会・硬質麦研究会 「穂揃期研修会」

JA全農ふくれん麦部会(部会長:石井 好人 JAにじ)及びJA全農ふくれん麦部会硬質麦研究会(会長:遠藤 幸男 JA直鞍)は、平成29年2月24日(金)、28年産麦の高品質・安定供給実現のため、中間管理および小麦の穂揃期追肥に向けた研修会を開催し、部会代表者やJAら35名が参加しました。

研修会では、福岡県農林水産部経営技術支援課田中専門技術指導員より、硬質小麦の穂揃期追肥について説明が行われました。説明の中で硬質小麦(ちくしW2号・ミナミノカオリ)の来歴や施肥基準の再確認を始め、平成26年産ちくしW2号生産者446名、ミナミノカオリ生産者1,139名の栽培管理とタンパク質含有率、収量との関係を解析し、収量、品質向上のための栽培管理について報告が行われました。

また、中央会農業対策部の小野部長より、平成29年度経営所得安定対策等の見直しについて報告が行われました。畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)の単価改定は3年ごとに改定されており、本年産からの3か年の単価が決定しています。

次に本会より、PR活動としてちくしW2号(ラー麦)においては「博多駅・福岡空港向け共同商品の開発について(7月中旬予定)」、ミナミノカオリにおいては麒麟花園コスモスフェスタ等でのイベント出店について報告しました。

また、会議の最後には7月中旬に予定している博多駅・福岡空港向けの共同商品発売に向けての第1弾として二種類のスープを使ったラー麦ラーメンを食べて頂き、投票により、スープを決定いたしました。今後も発売に向けて着実に事業を進めていきたいと思っております。

会議全体として、予定時間を大幅に超え、活発な意見交換が行われました。

【主な内容】

- ◆硬質小麦の穂揃期追肥について
福岡県農林水産部 経営技術支援課
専門技術指導員 田中 浩平 氏
- ◆平成29年度経営所得安定対策等
の見直しについて
JA福岡中央会農業対策部 部長 小野 義憲 氏
- ◆ちくしW2号(ラー麦)のPR活動について
JA全農ふくれん農産課
- ◆ミナミノカオリのPR活動について
JA全農ふくれん農産課



↑石井部会長挨拶の様子



↑田中専技による説明の様子。



↑活発な意見質問が述べられました。

☆☆☆あとがき☆☆☆

本会に置きましても、3月10日に人事異動の内示が発表され、農産課でも2名異動することとなりました。

- 農産課長 安永浩文
JA福岡中央会へ異動
- 担当 中野祐太
福岡県庁農林水産部へ異動

大変お世話になった皆様方へ4月より新天地で働く2人より一言です。

平成24年4月の赴任以来、丸5年間にわたり大変お世話になりました。その間、硬質麦研究会の立ち上げ、全国に先駆けた意見交換会の開催等、色々取り組んで参りましたが、収量に置いては、なかなか思うような結果が出せなかったのが残念でなりません。

今後も「福岡の麦」の安定生産、品質向上に向けて、新課長、スタッフとも信頼される産地を目指し頑張っていくものと考えていますので、引き続きご支援・ご愛顧の程よろしくお願い致します。

安永 浩文

平成23年の入会以来、6年間ありがとうございました。新入職員で右も左もわからない私に丁寧にご指導いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。2年間福岡県庁へ修行に出ることが決まりましたが、戻ってきた際には必ず皆様に成長した姿を見せたいと思っております。

農産課の新メンバーも熱い思いを持って取り組んでいくと思いますので、今後とも「福岡の麦」をご愛顧いただきますよう、よろしくお願いたします。

中野 祐太

新メンバーで高品質・高収量の29年産福岡県産麦栽培に向けて、鋭意努力して参ります。



全国農業協同組合連合会 福岡県本部

☆FUKUOKA no MUGI 編集局☆

YASUNAGA HIROFUMI

YAMASHITA NORIKO

NAKANO YUUTA

NISHIHARA YOSHIHIRO

NAKASHIMA YUUSUKE

日本一の麦をつくらう!

- 安定供給に向けて作付面積を拡大しよう!
関係機関と連携して作付面積を拡大し、福岡県産麦の供給不足の解消に取り組もう。
- 生産技術の向上により産地・地域間の品質格差を解消しよう!
産地間の品質格差の解消による平準化に向け、実需者と一体となった産地づくりに取り組もう。
- 実需者や消費者と一体となり地産地消の取り組みを拡大しよう!
JAめん・キリンビール・福岡県産焼酎・県産麦を使用した商品の消費拡大に取り組もう。

JA全農ふくれん本部会(生産者・JA・JA全農ふくれん)
Since.2005.6.28.

HPにも掲載!

JA全農ふくれん

検索

